

小村侯生誕 160 周年

今年は、1855 年（安政 2 年）小村侯が日南市飢肥に誕生して 160 年目の年となります。宮崎県が生んだ偉人小村寿太郎。19 世紀末から 20 世紀初頭にかけて西欧列強が世界を支配しつつある中、当時世界最強の軍隊を擁した大国ロシアの南下政策に対し、自国の存続を賭けて戦いを挑んだ日本。その開戦から和平交渉まで、日本外交のすべてを担った小村寿太郎の誠の精神と生き方は、現在にも生きる智慧として伝えるべきものです。

小村侯は

「人間が生きていく上では、嘘をつかず、誠実で、人から信頼されることすなわち「誠」の精神が最も大切である」と述べています。

明治時代を代表する外交官として、国家や国民の真の利益を追い求め、その実現に生涯を捧げた小村寿太郎の「誠」の精神と生き方を若い世代に伝えていくプロジェクトが、小村侯生誕 160 周年記念事業として日南市で始まりました。歴史紙芝居「小村寿太郎」・動画絵本「小村寿太郎」の製作です。歴史紙芝居は、小学生への読み聞かせ用に、動画絵本は地元放送局 MRT による教育番組で放映されます。

小村侯生誕 160 周年記念歴史紙芝居・動画制作委員会 会長 崎田恭平
事務局長：日南市生涯学習課 岡本武憲

「余は敢えて人より特に優れたところがあるとは思わぬ。もし万一にも余に採るべきものがあるとしたならば、それはただ「誠」の一字に尽くされると思う。すなわち、学問に対しても、同胞との交際においても、将来を計るにも、いずれもこの「誠」の一字を忘れぬ覚悟でおる」

〔中学校世界〕第十四巻第八号 明治四十四年七月一日

CONTENTS

- 小村侯生誕 160 周年記念プロジェクト
日南市の取組みのご紹介
- ポーツマス講和・平和条約締結 110 周年
条約締結後のポーツマス
- 世界の歴史教科書から
世界が伝える日露戦争
- 小村寿太郎侯エピソード
- シリーズ教養講座のご案内
- 下半期事業活動のご案内
- アンケート調査報告

小村寿太郎侯は宮崎が、否日本が生んだ偉大な外交官です。明治維新は江戸末期に列強からの圧力にどう立ち向かうのかという大変難しい選択を迫られた時代です。幸いにも若い青年達の果敢な行動と強い精神力により開国、大政奉還、廃藩置県を成し遂げました。しかし、問題は山積していました。特に列強との不平等条約、韓国と清国との関係は深刻でした。

これらを完結させたのが小村外務大臣です。

本会は小村侯のこの業績に学び、広くお伝えしていく活動を行っております。今年発足 3 年目を迎え、140 数名の仲間ができました。今後とも多くの皆様のご協力、御尽力を頂きながら更に努力して参ります。

会長 川村蒼市

ポーツマス講和条約締結110周年

条約締結後のポーツマス・・・生き続ける小村侯の誠実

ポーツマス講和条約締結110年を迎えた今年、同市ではどんな行事が行われるのだろうか。毎年9月5日15:47の条約締結時刻に合わせて平和の鐘が1分間鳴らされる。

同日は長らく同市の休日に指定されていたが、2010年にニューハンプシャー州の休日に格上げされて「ポーツマス平和記念日」と制定された。条約締結当時の米国は大国ではあったが列強国ではなく、孤立主義のモンロー宣言から、門戸開放政策へと舵を切ったばかりであったため、世界へ影響力を誇示する絶好の機会がポーツマス条約であった。米国の転機ともいえる条約でもある。事実、米国が世界の条約に関わる初めての機会となった。

講和条約の仲介の労を功してセオドア・ルーズベルト大統領は米国人初のノーベル平和賞を得たことも世界への関与力を裏打ちしてくれた。

条約締結の署名が成立した時の同市では、合図と共に21発の祝砲が響き、港の汽船から一斉に汽笛が鳴られ、町の教会からは鐘の音が響いたという。

両国全権と同じく、ウエントワースホテルにジョン・マックレーン州知事も期間中に泊まり込んで講和交渉に全面協力してくれた。締結の数日前の8月29日には講和は合意に達していて、その日の露国全権ウイッテは記者団に「パ・ザン・スウ！」（一文も払わずに！）を連呼したと記録されている。日本側から譲歩を引き出したと有頂天だったウイッテも条約締結後に、ぬかりを見せ大慌てを演じることとなった。

調印の後、ポーツマスを離れる9月5日、小村侯はホテルの従業員にチップとして、千ドルを差出し、更に州政府に対し謝礼として一万ドルの小切手を寄付した。その事を、すでにニューヨークに向かってウイッテは後で知り慌てて3日後に同額の一萬ドルを送ってきた。

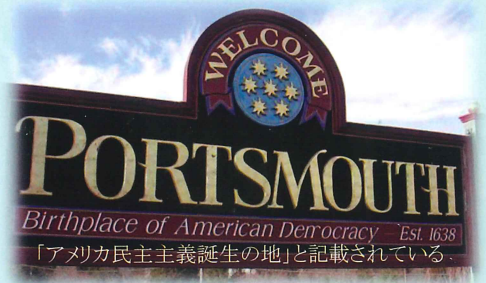
同市は直ちに評議委員会を組織して一万ドルずつをそれぞれ日・露両国の国債に投資してその利益を9月5日の調印記念日に、同委員会が指定した施設（病院、孤児院・老人施設）に贈るという仕組みを作った。名称は「露・日基金」とされた。

後のロシア革命でロシア国債が債務不履行になり途絶え、日本もまた、先の大戦で同様に債務不履行になってしまった。しかし、再び昭和26年に日本から利息が送られてきた。それから9年間の債務不履行を補うために倍額の利息支払いが9年続けられた。基金名称は変わらず「露・日基金」としていたため、1961年、この基金のロマリー委員長がロシア国債の復活を望み、当時のソ連に書簡を出したが返事は無かった。これにより1963年から名称が「日本慈善基金」と改まった。

日本政府の約束を守る誠実さは誇らしく思うし、小村侯の数々の功績のひとつがポーツマスの地で輝き、今も続けられていて同様に誇らしい。

小村侯生誕160年の今年に、さて日南市・飢肥では何が催されるのだろうか。日南市の竹香園に建つ小村侯の銅像は立像でポーツマス市に向けて据えられている。裏にある碑銘には「後進をして感奮興起の資たらしめん」「偉業を万世に伝え、その名誉を不朽に発揚せん」と建立趣意が刻まれている。

郡司聡視



ロシア全権
ウイッテ

日本全権
小村寿太郎

ルーズベルト大統領



満知子夫人は悪妻か？

妻満知子は、一般的には所謂悪妻の代表として知られています。では、何故寿太郎は、周囲から離婚を勧められながらも、踏み切らなかったのでしょうか。

昨年の第3回総会での講演で、講師平野恵一氏が「小村寿太郎と魚武を引用しながら満知子夫人の一面に触れ、小村侯は「糟糠の妻」として認めていたからではないかという新説を示唆しておられました。印象深いお話でしたので、この著作の一部をご紹介します。

続 怪傑傳(上) 伊藤痴遊全集 續第四巻

小村寿太郎と魚武 平凡社発行

小村寿太郎が外務省へ入って、翻訳局長に抜ける迄の不遇時代は誰も皆同情するほどであった。果は、身動きの出来ぬほど借金に沈んでしまった。

或日の事、小村は役所から帰ってきた。女中の兼と妻のまじ子が対座になって、何事かひそひそ相談して居る。まじ子は聲を忍んで泣き伏した。小村もへつと思つた。考えて見れば、半年餘も俸給を持つて帰らなかったのだ。

「斯うなつては、一時の凌ぎに、表町に魚武といふ魚屋が御座いますから、仕出しの辯當をお暇りになつては如何で御座いますか」

「是非、然うして呉れ、家の者も皆辯當にして丁へ」

相談が決つて、お兼から魚武(注文して、三度々々辯當飯を食う事になった。魚武の支拂は漸次滞つて来て、屢次嚴談を受けて、辯當の仕送りも縁がきれやうとした。

まじ子は或日の夕方、自分で魚武の店へやつて来た。

「奥様、何か、御用で御座いますか」親方に御願ひの筋があつて参りました。實は、辯當の勘定が滞つて、度々の御催促も受けたが、現在の所では、何とも始末はつきませぬので、猶暫くの間、此儘に辯當を送つて頂きたいのですが……」

「そいつア困りますな。之から先の仕出しは、他へ頼んでくださいな」

「左様なものならば、お願いには参りませぬ。お羞かしい事ではあります。斯うして戸外へ出ますにも、他様の眼を忍んでまゐるので御座います。主人も、相當の力はあるものでございしますから、今暫くの所算で頂きましたら、又、世の中へ出る時もあると、考えます。」

もう少しの間、この儘に辯當を送つて下さる事は出来ませぬかと夫人が細帯一本で、怪しげなる羽織にそれを隠して、涙片手の頼み事。江戸ッ子氣質で、威勢の好い商売をして居る魚武は、流石に男であつた。「可う御座います。左様いふ事情なら、当分、辯當を送りやすから、安心してお在なせえまし」有難う存じます。此御恩は、決して忘れませぬ」魚武は一言半句、催促がましい事は言わずに、一旦誓つた通り小村侯が世の中へ出るまでは辯當を送りつづけた。

明治二十六年の秋、代理公使として北京へ行くことになった時、小村侯が代金の一部を払おうとすると「冗談いっちゃ、可けねえ。夫人がご光来なすつて、辯當だけは当分運んで呉れろといふから、其お言葉で今日まで能うだけの事をしたのだ。都合がよくなら、改めて貰ひやすから、マア、其金は其方を使つたら可いでせう」

飽までも、義理を立てぬく江戸ッ子の気性で、魚武の此サツパリした答へを聞いた時には、剛情我慢の強かつた小村侯も嬉し涙に暮れたという事である。

下笠直樹

アメリカ:

アメリカの中等歴史教科書「アメリカ盛観(6)」には日本全権小村寿太郎とロシア全権ウイッテの写真を大きく掲載し・

「1904年に勃発した日露戦争は、彼に国際的政治家として活躍するチャンスを与えた。アジアへのつしのつと歩き回るロシア熊は、その凍傷にかかった手足を満州の不凍港、特に旅順で温めるべく狙っていた。日本人から見ると、満州と朝鮮がロシア皇帝の手に落ちれば、日本の心臓部にピストルを突き付けられるのと同じだった。ロシアは1900年、義和団事件の際に満州に軍隊を送り込み、当初の約束通りには撤退しなかった。ロシア皇帝としてはシベリア鉄道完成まで居残るつもりだった。だが時計の針は刻々と迫り、1904年、日本は旅順に停泊中のロシア艦隊に奇襲をかけ、日露戦争の口火を切った。

日本は不器用なロシア人に屈辱的な一連の打撃を与えた。非欧州系の軍隊が欧州勢力に対して軍事的ダメージを与えたのは、16世紀トルコの欧州侵略以来初めてのことだった。」と書いている。

ロシア(旧ソ連):

ロシア革命(1917年)後の10年間、旧ソ連の教科書には次の様に書かれた。

最も簡潔なロシア史(1)には・

「ロシア帝国の建設者どもは、その帝国の境界を更に押し広げようと企図し、挫折を招いたのである。何十、何百億もの偉大な蓄積者(資本家)どもは、更に新たな十億、それは甚だ不恰好に転がっていて、ロマノフどもの財布に入り込むかのように見えた。ロシアの国内情勢が戦争に拍車をかけた。

革命の機運が高まり、ロマノフどもと彼等の取り巻き連中に対する民衆の憎悪を他に向けさせる必要があった。そこで、かねがね目の敵にされていたユダヤ人が対象に選ばれた。1903年4月、キシニョフで大々的に「ユダヤ人征伐」が行われたが思うように成果が上らず、別の対象を探さなければならなくなった。

そこへ、丁度よく日本人が舞い込んできた。日本人は不信仰者、非キリスト教徒邪教徒であった。日本の様な小僧っ子が、ロシアの様な巨人と何条渡り合えようぞ!。こうして、戦争の助けによって「革命的熱気を吹き散らす」ことを決定した

日本政府は、既に久しい前から事態が戦争に向かって進んでいることを見事に理解し、一切の予備的手段を講じつつあった。その一つは英国との同盟だった。

これ以上の交渉が何ももたらさないこと、これ以上の延引はロシア側が準備を完了するのを助けるだけであることが明白になるや否や、彼等は行動に出ることを決した。」

資料: Web Page

大田原瑞穂

第2回シリーズ教養講座のご案内

第2回は小村侯が振徳堂を卒業、飢肥藩を巣立ち長崎、大学南校(現東大)、ハーバード大学留学へと羽ばたく、いわゆる青春時代を中心とした講座です。

主に小倉処平先輩、お雇い外国人グリフィスとの出会い等、青春時代の彼に影響を与えた人々との出会い、縁に焦点を当てます。

特にグリフィスの母校である米国ニュージャージー州ラトガース大学のアレクサンダー図書館に収蔵されている、18歳の小村侯がつづった青春の自画像ともいべき貴重な資料をテキストにします。これは小村侯が同時代に書いた英文の自叙伝で、後年の外交官としての活躍がうなずける資料といえます。

開催日時 : 9月12日(土) 14:00~17:00

開催要領 : 講義 14:00~15:00

対話 15:00~16:00

交流会 16:00~17:00

講師 : (交渉中)

会費 : 2,000円

開催会場 : ジャパン・プロテクション(株)本社3階
千代田区二番町5-7

☎03-3265-6861

アクセス : 地下鉄有楽町線「麹町」5番出口徒歩1分

JR 四ツ谷駅より徒歩7分

テキスト : 「小村寿太郎-若き日の肖像」

「小村寿太郎自叙伝集-青春の自画像」

今年の講座・講演開催予定

・シリーズ教養講座 第3回 外交官時代(前期) 10月

第4回 外交官時代(後期) 12月

講演 一国会講演 小村侯と日米同盟 9月

EPISODE OF MARQUIS KOMURA

日向に人材がいなわけ

小村侯が同郷の友人と盃を交しながら天下国家を論じていた。客の一人が「時に小村君、どうもお互い郷里の人間にはロクナモノがおらんのか、どういふわけじやろうか」と尋ねた。小村侯曰く「それは決まつてる。昔、神武天皇がい奴は皆んな残らず日向から引き連れて東へお出になつたんじやから、碌な者は残つておらんわけさ」と答える。お客はすかさず「それじゃあんだはどうなるのか」と云うと「俺だけは例外じやよ、アツハツ」と呵々大笑された。

外務省翻訳局長時代

小村捷治著「骨肉」による

意気天を衝く

小村侯はひどい貧乏生活余儀なくされた。父の会社が倒産し巨額の債務が小村侯の肩にのしかかったのである。このため、着ている洋服はブロックコート一着で、冬も夏も同じ物を着ていました。夏は暑いだろうと人が言うのと「貧乏していると暑さを感じない、貧乏に負けなければよいのだ」と答えられた。小村侯の度胸のよさを垣間見る事が出来ます。

北京代理公使時代

岡村久彦著「小村寿太郎とその時代」による

眼には眼を、齒には齒を

アメリカ在任中、外務省の同僚である加藤高明が英国からの帰任途中、ワシントンに寄った。小村侯が加藤夫妻の為に歓迎会を開いた。加藤は小村の顔をじろじろ見て「相変わらず薄汚いな、酒ばかり飲んで豪傑ぶっているのいいかげんにしろ。細君をよんだらどうだ」

その加藤のことばに、その婦人が尻馬に乗った。「ほんとうにそうでございますよ。今度日本に帰りましたら、奥様にぜひ渡米なさるようおすすめます。」「ちなみに婦人は岩崎家の出である」小村侯は口ひげから酒のしずくを垂らしながら「そいつはまあ、ごめんこうむりましょう。みつともない面の嬢アをひきずりまわして世界中に恥をかいで回るのはまづびらですからアツハハ」と笑い飛ばした。さすがに加藤も婦人も青くなつたといわれます。小村冗句の真骨頂ぶりが伺えます。」

アメリカ公使時代

木村勝美著「人間小村寿太郎」による

世界遺産 富岡製糸場見学紀行

驚いたことに大変な人気である。富岡製糸場で学芸員から説明を受けようとすると、6ヶ月前に申し込んでも週末はおろか、平日でも希望どおりにはいかず結果として6月11日(木)の、それも14時30分から15時30分迄の時間帯しか空いていないという混みようだった。

梅雨時で天候の心配はあったが、あり難くも終日梅雨の晴れ間に恵まれた。車中 NHK で放映された『英雄たちの選択』決裂も辞さず・日露講和会議の小村寿太郎』のビデオが流れ、交渉で苦悩する小村侯の姿を勉強することができた。

そもそも登録された世界遺産は、富岡製糸場を中心として、田島弥平旧宅、高山社跡および荒船風穴の絹産業遺跡群から構成されているが、今回のツアーでは、旅程・時間の都合上、富岡製糸場および高山社跡を見学することとなった。

富岡市の東に位置する藤岡市の山懷に抱かれた高山社跡は、創始者・高山長五郎(1830年～86年)が養蚕法の改良を行った高山社発祥の地である。先祖伝来の屋敷を壊して蚕室を建てて研究を行い、試行錯誤の中から通風と温湿度管理を調和させた「清温育」という優れた養蚕飼育法を確立して、さらに普及に努め、これを全国に広めたという功績が光っている。

昼食は富岡市内の割烹「萬屋」で豪華な弁当に舌鼓を打ち、続いて訪れた「こんにやくパーク」では皆思い思いの買物を楽しんだ。

14時、いよいよ広大な敷地面積(53.738㎡・16.255坪)を有する本命の富岡製糸場に入った。正面入口の突き当たりが東繭倉庫で、眼を上げると石板「明治五年」の文字が飛び込んでくる。反対側に西繭倉庫があって、これらの両倉庫を繋ぐ形で南側に繰糸場がおさまっている。

明治5年(1872年)に明治政府が設立した官営の器械製糸工場で、民営化後も技術開発の最先端として、国内養蚕、製糸業界を世界一の水準に牽引した。また、田島家、高山社、荒船風穴などと連携して蚕の優良品の開発と普及を主導した。建物は和洋技術を混交した工場建築の代表であり、長さ100mを超える木骨煉瓦造りの繭倉庫や繰糸場など、主要な施設がほぼ操業当時のまま残されている。

結びに、高山社跡の説明者にしても、富岡製糸場の学芸員にしても、世界遺産、郷里に誇りを持って生き生きと語る姿には、私のみならず多くの方も感動を覚えた。

追記すると、富岡製糸場の繁栄は、小村寿太郎侯と無縁ではない。明治の外交官として欧米列強を相手に不平等条約の改正に尽力し、この改正が政府の富国策、輸出振興に大いに貢献しているからである。

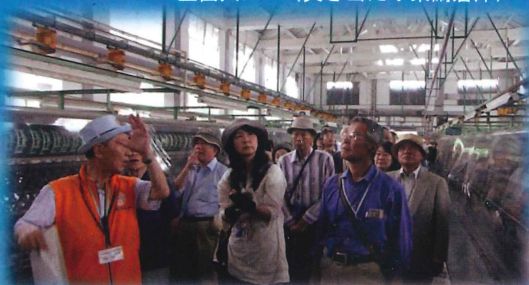
下笠直樹



明治5年創業



正面入口 (突き当たり東繭倉庫)



繰糸場内部 (梁間123m 支柱の無い構造)



高山社跡

小村侯青山墓所参拝・清掃活動

小村侯墓所参拝・清掃活動を下記の日程で実施致しますので
お誘い合わせの上ご参加下さい。

第3回	7月26日(日)	12:00
第4回	9月27日(日)	いとうや青山霊園茶屋集合
第5回	11月29日(日)	13:00～ 昼食・懇親会

第4回総会・懇親会のお知らせ

開催日	平成27年11月7日(土)	13:30 開始
場所	日本出版クラブ会館	東京都新宿区袋町6 ☎03-3267-6111
会費	3,000円	
講演	谷口義幸氏(前宮崎県日南市市長)	
演題	小村寿太郎侯と日本外交(仮題)	

会費納入についてお願い

事務局より振込取扱票を送付致しておりますが、送金手続きがお済みでない方は早めに完了して頂きたくお願い申し上げます。

小村寿太郎侯東京奉賛会事務局 〒130-0026 東京都墨田区両国1-14-10-801

☎03-3846-9030 FAX 03-6659-3084 E-Mail kanemaru.hiroshi@orchid.plala.or.jp

アンケート調査のまとめ

3月に実施したアンケート調査については、回答率が低かったため、各設問毎のデータ解析の段階に至っていない現状です。今後の課題と致します。今後の会運営の方向付けに有効なご回答、ご意見をいただいておりますので、質問8、11および12についての回答報告を致します。

8. 会員拡大の取り組みとして有効と思われるもの

回答は全項目重要とバラツキはありますが 1. あらゆる機会をとらえた広報・宣伝活動、3. 有効な説明資料、パンフの作成 6. 会員による地道な加入活動 が回答数の63%

11 講演会のテーマ、推薦したい講師について
提案する講師:

孫崎 享 氏 元外交官 近著: 戦後史の正体(創元社刊)
片山慶隆 氏 大学講師 専門: 日本近代史
小村外交を支えた方達からみた小村寿太郎像を語る方
例 本田熊太郎の研究者、御親族

12 NEWS LETTER の内容に期待するもの

3. 会の普及活動の紹介 5. 最新の研究、新たな歴史的事実の紹介
の2点が回答の50%を占めている。次いで会の検討・実施事項の報告
要望として「小村寿太郎ものしり博士」検定制度を設けて、知名度向上、観光振興、児童の学習に役立てる。というご提案がありました。



小村 寿太郎 (満13歳の頃)



右端の人物が寿太郎(15歳)

セミナー・交流会



城下町 飢肥
治 氏



小村寿太郎に学ぶ シリーズ教養講座 第1回が7月11日に日南市国際交流センター、小村記念館学芸員の長友禎治氏を講師に招き、ジャパンプロテクション(株)会議室で開催されました。

テーマ 「幼少期の小村寿太郎と城下町 飢肥」

「若き日の肖像 小村寿太郎」の著者で 飢肥在住、日南市の長友禎治学芸員を招いての教養講座は 50 席が全て埋まる盛況となった。中には佐賀県、香川県出身者、寿太郎の姉、ワカの嫁いだ神戸家の縁者も参加されていた。著書をテキストにした演題「幼少期の小村侯と城下町飢肥」から前半は、飢肥藩の成り立ちから始まり、自ら調べた伊東家の古文書から得た貴重な情報が平易に伝えられた。

油津・外浦港の貿易的・地理的な重要性、薩摩との 80 年戦争の真偽、五万石の城に似つかわしく無い程立派な石垣と宮崎県唯一の堀川運河の建設時期の一致から、その費用の出处を探り当て、又、飢肥杉の藩の政策としての育成時期まで語られ、初めて知り得た事が多くあった。

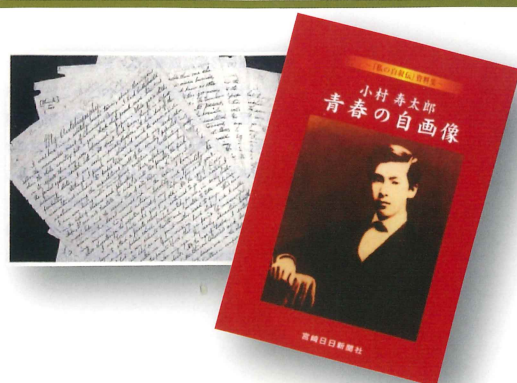
後半は、小村侯に関わる重要人物を関連図資料を参照しながら語られた。シリーズ講座の特徴に講師との対話が企画されていて、質問形式で進められたが、運命を決めた長崎遊学への迷いと決意について、藩校振徳堂についての対話がなされた。

交流会では乾杯の後、日南市副市長から改めて、小村侯生誕 160 周年記念プロジェクト、歴史紙芝居・電子絵本「小村寿太郎」の案内と制作支援金の依頼があった。

今回のシリーズ教養講座は、平成 9 年に奇跡的に米国で発見された小村侯の自筆英文「私の自叙伝」となる。その資料小冊子も参加希望者に配布された。英語を学び初めて 5 年足らずの若者小村寿太郎が書いた文章は、そのつづり、句読点、正確さに加え、思考の深さ、洞察力に驚愕させられる。この自筆英文が見つかるきっかけとなった張本人の槐島氏にインタビューを行い、その映像を紹介したいと思う。講師は米国で行われるポーツマス講和 110 周年の記念式典に参加し、ポーツマスから帰国したばかりとなる長友禎治さんにホットな情報を提供して戴きたく企画中である。

郡司聡視

小村侯が 18 歳の時に書いた「私の自叙伝」(英文)を含む貴重な資料満載の「小村寿太郎 青春の自画像」小村記念館監修、宮崎日日新聞社刊に参加された皆様にテキストとして配布しました。



小村寿太郎侯東京奉賛会 事務局

〒130-0026 東京都墨田区両国 1-14-10-801

☎ 03-3846-9030 FAX 03-6659-3084